

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	65,652	3.6	4,522	47.1	1,103	41.1
2021年3月期第3四半期	63,388	27.3	3,073	89.7	782	603.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,961百万円 (△10.9%) 2021年3月期第3四半期 2,201百万円 (△46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.47	—
2021年3月期第3四半期	31.51	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	192,147	45,757	23.7
2021年3月期	194,383	43,796	22.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 45,628百万円 2021年3月期 43,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	0.4	4,400	14.2	840	10.0	33.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	24,820,530株	2021年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	112株	2021年3月期	91株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	24,820,423株	2021年3月期3Q	24,820,455株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	対前年同四半期 増減率 （%）
経常収益	63,388	65,652	3.6
経常利益	3,073	4,522	47.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	782	1,103	41.1

経常収益は、生命保険事業における特別勘定（※）に係る収益が前年同期に比べ2,930百万円減少しましたが、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ2,264百万円増加し、65,652百万円（前年同期比3.6%増加）となりました。この増収効果により、経常利益は前年同期に比べ1,448百万円増加し、4,522百万円（同47.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ321百万円増加し、1,103百万円（同41.1%増加）となりました。

（※）変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

また、生命保険事業における特別勘定に係る収益を除いた経常収益は次のとおりであります。

<参考情報>

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	対前年同四半期 増減率 （%）
特別勘定に係る収益を除いた経常収益	58,758	63,953	8.8

なお、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者様を対象に、保険料の払込猶予期間の延長や、災害死亡保険金等の支払事由の範囲拡大、保険金請求手続きにおける必要書類の一部省略などの特別措置を実施するなど、企業の社会的責任を全うするにあたって必要な各種の取り組みを継続的に行っております。

② セグメントごとの経営成績

当第3四半期におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	経常収益			セグメント利益（経常利益）		
	第3四半期連結累計期間		増減率 （%）	第3四半期連結累計期間		増減率 （%）
	2021年3月期	2022年3月期		2021年3月期	2022年3月期	
損害保険事業	23,820	24,929	4.7	583	1,518	160.3
生命保険事業	20,548	19,297	△6.1	2,694	3,178	18.0
少額短期保険事業	19,207	21,611	12.5	249	267	7.4
報告セグメント計	63,576	65,838	3.6	3,527	4,965	40.8
セグメント間消去又は調整	△188	△185	—	△453	△443	—
四半期連結損益計算書計上額	63,388	65,652	3.6	3,073	4,522	47.1

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

主力商品である自動車保険において、新テレビCMのオンエア開始等によるプロモーションの強化やデジタル広告等の運用効率改善に継続的に取り組んだことなどにより、ダイレクトチャネルを中心に販売が好調に推移しました。また、SBIグループの重点施策である「オープン・アライアンス戦略」に沿って、多様な分野の事業法人や地域金融機関との連携に基づいた新たなサービスを提供開始するなど、更なる顧客基盤の拡大に向けた取り組みも推進しました。こうした取り組みの結果、2021年12月末の保有契約件数は1,173千件（前年度末比3.2%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比4.7%増加の24,929百万円となりました。セグメント利益は、保険金支払いが前年同期に比べ増加しましたが、増収効果に加え、責任準備金繰入額が前年同期に比べ減少したことなどにより、前年同期比160.3%増加の1,518百万円となりました。なお、前年度において、初年度収支残をもとに普通責任準備金(※)を大幅に積み立てたことにより、当第3四半期の責任準備金繰入額は前年同期に比べ減少しております。

(※) 普通責任準備金は、決算日後の保険金等の支払義務を果たすために積み立てる責任準備金の一つであり、未経過保険料及び保険料積立金の合計額と初年度収支残を比較し、大きい方の金額を普通責任準備金として積み立てます。初年度収支残は、当期の収入保険料から、当該保険契約のために支出した保険金等及び当期の事業費を控除して算出されます。

(生命保険事業)

団体信用生命保険（住宅ローン等のご利用者様向けの団体保険）において、住信SBIネット銀行株式会社向けの商品をリニューアルしたことなどにより販売が好調に推移しました。また、新たな販路獲得に向けSBIグループの「地方創生」プロジェクトに沿った地域金融機関との提携交渉にも継続して取り組みました。そのほか、音声認識の仕組みを活用した生命保険料の見積もりサービスを国内で初めて提供開始するなど、DX（デジタルトランスフォーメーション）によって新しい顧客体験を創出する取り組みも推進しました。こうした取り組みの結果、2021年12月末の保有契約件数（団体信用生命保険の被保険者数を含む）は297千件（前年度末比19.8%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が順調に増加したものの、前述のとおり、特別勘定に係る収益が前年同期に比べ2,930百万円減少したことにより、前年同期比6.1%減少の19,297百万円となりました。なお、特別勘定に係る収益を除いた経常収益は、前年同期に比べ1,679百万円増加（前年同期比10.6%増加）しております。セグメント利益は、団体信用生命保険における保険料の増収が寄与し、前年同期比18.0%増加の3,178百万円となりました。

(少額短期保険事業)

SBIいきいき少額短期保険株式会社とSBI日本少額短期保険株式会社は、2021年11月1日に国内初の「金融サービス仲介業者」として登録を受けた株式会社SBIネオモバイル証券を介する保険商品の販売スキームを新たに展開するなど、SBIグループのシナジーを活用した販路開拓を推進しました。また、SBIリスタ少額短期保険株式会社は、ペット関連の有料会員様向けサービスを展開する事業法人と提携し、会員サービス付帯型の「ペット飼育費用補償保険」を提供開始するなど、外部パートナー企業とのアライアンスに基づいた新しいサービスの開発に取り組みました。こうした取り組みの結果、2021年12月末の保有契約件数は971千件（前年度末比3.1%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比12.5%増加の21,611百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果により、前年同期比7.4%増加の267百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、192,147百万円（前年度末比2,235百万円減少）となりました。主な勘定残高は、有価証券129,325百万円（同1,329百万円減少）、現金及び預貯金31,068百万円（同1,740百万円減少）であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、146,389百万円（同4,197百万円減少）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金133,549百万円（同2,962百万円増加）であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、45,757百万円（同1,961百万円増加）となりました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加850百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,103百万円増加したことです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	32,809	31,068
買入金銭債権	3,297	5,866
金銭の信託	136	88
有価証券	130,654	129,325
貸付金	153	149
有形固定資産	542	565
建物	272	254
リース資産	26	15
その他の有形固定資産	244	295
無形固定資産	8,359	8,126
ソフトウェア	4,295	4,113
のれん	3,224	3,234
その他の無形固定資産	839	777
代理店貸	140	86
再保険貸	4,710	5,513
その他資産	11,815	10,490
繰延税金資産	165	167
支払承諾見返	1,600	700
貸倒引当金	△2	△0
資産の部合計	194,383	192,147
負債の部		
保険契約準備金	130,587	133,549
支払備金	17,213	19,063
責任準備金	111,368	112,153
契約者配当準備金	2,005	2,332
代理店借	401	200
再保険借	4,561	4,898
その他負債	11,804	5,378
退職給付に係る負債	33	33
価格変動準備金	730	817
繰延税金負債	868	811
支払承諾	1,600	700
負債の部合計	150,586	146,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	2,666	3,770
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,102	44,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	1,422
その他の包括利益累計額合計	572	1,422
新株予約権	21	21
非支配株主持分	99	107
純資産の部合計	43,796	45,757
負債及び純資産の部合計	194,383	192,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
経常収益	63,388	65,652
損害保険事業	23,716	24,829
保険引受収益	23,060	24,428
正味収入保険料	23,048	24,417
積立保険料等運用益	11	11
資産運用収益	599	366
その他経常収益	57	34
生命保険事業	20,527	19,283
保険料等収入	11,236	14,357
保険料	8,870	10,997
再保険収入	2,365	3,359
資産運用収益	7,620	4,539
利息及び配当金等収入	1,676	1,743
有価証券売却益	1,311	954
有価証券償還益	0	52
為替差益	—	35
貸倒引当金戻入額	2	1
その他運用収益	0	53
特別勘定資産運用益	4,629	1,699
その他経常収益	1,671	386
少額短期保険事業	19,143	21,539
保険料等収入	18,680	21,043
資産運用収益	0	0
その他経常収益	462	496
経常費用	60,314	61,130
損害保険事業	23,154	23,332
保険引受費用	17,165	16,583
正味支払保険金	13,126	13,779
損害調査費	2,765	2,951
諸手数料及び集金費	△1,967	△2,384
支払備金繰入額	1,178	2,120
責任準備金繰入額	2,062	116
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	64	171
営業費及び一般管理費	5,913	6,551
その他経常費用	10	26

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
生命保険事業	17,838	16,102
保険金等支払金	10,934	11,424
保険金	1,779	2,725
年金	634	604
給付金	792	898
解約返戻金	3,949	2,619
その他返戻金	1,069	967
再保険料	2,708	3,609
責任準備金等繰入額	3,769	705
責任準備金繰入額	3,769	705
資産運用費用	70	435
支払利息	1	1
有価証券売却損	3	—
有価証券評価損	—	291
有価証券償還損	—	0
金融派生商品費用	0	13
為替差損	16	—
その他運用費用	47	129
事業費	2,883	3,254
その他経常費用	181	282
少額短期保険事業	18,873	21,251
保険金等支払金	11,732	13,242
責任準備金等繰入額	207	272
事業費	6,900	7,712
その他経常費用	31	23
その他	448	443
経常利益	3,073	4,522
特別損失	78	285
固定資産処分損	0	198
価格変動準備金繰入額	77	86
契約者配当準備金繰入額	1,581	2,332
税金等調整前四半期純利益	1,413	1,903
法人税及び住民税等	550	919
法人税等調整額	80	△124
法人税等合計	631	794
四半期純利益	782	1,109
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	782	1,103

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	782	1,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,418	852
その他の包括利益合計	1,418	852
四半期包括利益	2,201	1,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,193	1,954
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	23,716	20,527	19,143	63,388	—	63,388
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	104	20	63	188	△188	—
計	23,820	20,548	19,207	63,576	△188	63,388
セグメント利益(注) 3	583	2,694	249	3,527	△453	3,073

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△453百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	24,829	19,283	21,539	65,652	—	65,652
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	100	13	72	185	△185	—
計	24,929	19,297	21,611	65,838	△185	65,652
セグメント利益 (注) 3	1,518	3,178	267	4,965	△443	4,522

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△443百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。